

# 定例公安委員会開催概要

## 1 開催日

令和6(2024)年4月17日

## 2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

### ■全体会議

#### 【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「クマが指定管理鳥獣に追加されることとなったが、今後、警察の業務にも影響が及んでくと思う。今後の動向については注意を願いたい。また、先日、拾得物の増加に関する新聞記事を目にしたが、これは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限が解除されたことにより人々の活動が活発化し、コロナ禍前の状態に戻ったことを示していると思われる。当県内での拾得物の推移等からも、県民が従前の生活様式に戻ったかどうかを知ることができると思うので注目してみたい。」

旨の発言があった。

#### 【警務部議題】

##### ○ 令和6年県議会2月定例会の開催状況について

警察本部から、「県議会2月定例会の開催状況について報告する。会期は、2月14日から3月22日までの38日間で行われ、警察本部関係の議案等は、議案5件及び報告4件であった。代表質問及び一般質問は2月22日から2月28日までの4日間で行われ、警察本部に対しては、一般質問で2名の議員から質問がなされ、公安委員会委員長及び本部長が答弁している。主な内容としては、日本共産党、盛岡選挙区の斉藤信（さいとうしん）議員から、①「盛岡東署員の自殺事案に関連して、パワハラを行った当時の上司の処分に係る調査が拙速ではなかったか。」、②「警察における懲戒処分の指針から見たら免職か停職とすべきではなかったか。」との質問がなされ、本部長が答弁しているほか、③「公安委員会は、本件に関して、どのような協議を行ったのか。公安委員会として、本部長注意で良しとしたのか。警察本部にどのような指導をしたのか。」との質問がなされ、公安委員会委員長が、④「この事案に関して徹底して検証すべきではないか。」との質問に対して、本部長及び公安委員会委員長がそれぞれ答弁している。

3月6日に開催された予算特別委員会警察本部審査では、6名の委員から質疑がなされ、本部長及び各部長等が答弁を行っている。主な質疑・答弁については、希望いわて、盛岡選挙区の小西和子（こにしかずこ）委員から、男性職員が育児休業を取得しやすい職場環境づくりについて質疑がなされ、警務部長が、希望いわて、奥州選挙区の郷右近浩（ごうこんひろし）委員からは、運転免許証・マイナンバーカード一体化事業を行うことのメリ

ットについて質疑がなされ、交通部長が、希望いわて、滝沢選挙区の柳村一（やなぎむらまこと）委員からは、公用車の温暖化対策について質疑がなされ、警務部長が、希望いわて、盛岡選挙区の上原康樹（うえはらやすき）委員からは、「道路の駐車禁止区間での駐車を一定の条件下で許可する制度、「駐車禁止解除許可制度」の周知が不十分ではないか。」との趣旨の質疑がなされ、交通部長がそれぞれ答弁しているほか、日本共産党、盛岡選挙区の斉藤信（さいとうしん）委員からは、一般質問から引き続き、「盛岡東署員の自殺事案に関連して、なぜ懲戒処分の指針とは異なる対応になったのか。」との質問がなされ、首席監察官が答弁しているほか、「公務と精神疾患に相当な因果関係が認められ、その精神疾患と自殺にも相当な因果関係が認められたこの事案において、県警がずさんな調査をし、本部長注意で済ませたから、公務災害が認定されて、損害賠償が出されたのではないか。」「懲戒処分の指針では免職または停職となっているが、なぜ本部長注意になるのか。不十分な調査で処分してしまったから、損害賠償を請求される事態になったのではないか。」「この間の一般質問で、この事案に関連して、最後に公安委員長は「議論していきたい」と言ったが、これは検証すべきではないか。」との質問がなされ、本部長が答弁している。

2月29日に開催された総務委員会において、警察本部関係の議案として、補正予算及び損害賠償請求事件（ジャッキアップポイントを誤認し車両を破損させたもの・懐中電灯を落下させ車両を破損させたもの）2件についての審査が行われ、自由民主党、八幡平選挙区の千葉伝（ちばつとう）委員及び自由民主党、遠野選挙区のはぎの幸弘（はぎのゆきひろ）委員から、それぞれの損害賠償請求事件に関して、事故の経緯、様態及び再発防止等について質疑がなされ、警務部長及び首席監察官が答弁し、原案どおり可とされた。また、この際質問において、希望いわて、北上選挙区の高橋はじめ（たかはしはじめ）委員から、「政治資金及び選挙資金収支報告書」の県警察の点検、情報提供等があった場合の対応などについて質疑がなされ、刑事企画課長が答弁している。

3月18日に開催された総務委員会において、警察本部関係の議案はなかったが、復興防災部が提出した「犯罪被害者等支援条例案」に関する審査対応のため、警務部長及び県民課長が出席し、希望いわて、一関選挙区の岩渕誠（いわぶちまこと）委員から、犯罪被害者給付金の支給状況及びインターネットによる誹謗中傷等被害対応について質疑がなされそれぞれ警務部長が答弁し、原案どおり可とされた。」旨の報告があった。

#### 《 委員発言 》

「これだけ多く議員が質問していただいていることは、関心を示していただいているということであり、とてもありがたいことだと感じている。」「男性の育児休業の取得率の上昇はとてもいいことであり、危険業務を伴う県警察こそリーダーシップをとって広げてもらいたいところであるが、単に取得したから良いというものではなく、今後の人生に生かしていけるよう、休業・休暇を有効活用して実効性を高めるものとしてもらいたい。」

## 【交通部議題】

### ○ 「令和6年春の全国交通安全運動」の実施結果について

警察本部から、「4月6日から15日までの10日間、「令和6年春の全国交通安全運動」を実施した。推進期間中の交通事故の発生状況については、速報値で、

発生件数 33件 前年同期比4件の減少

死者数 2人 前年同期比2件の増加

傷者数 39人 前年同期比1人の減少

であり、残念ながら高齢者が関係する交通死亡事故が2件発生した。

発生した交通事故をみると、子どもの事故が2件発生し、前年同期比では1件減少、いずれも車両同乗中の事故であり、歩行中の被害はなかった。自転車の事故については、5件発生し、前年同期比1件減少しているが、死亡事故も発生している。

高齢者の事故については、19件発生し、前年同期比7件増加しており、前年と比較して増加しているうえ、事故総数のうち58%を占めている。

期間中に発生した死亡事故のいずれも高齢者の事故であったことから、継続した指導や広報啓発の必要性を強く感じているところである。

運動期間中の交通違反取締り状況については、交通指導課員を中心に交通機動隊員、交通企画課員ら本部員が管轄署と合同の取締りを実施し、可搬式オービスによる速度違反や横断歩行者等妨害等違反などの交通違反を検挙している。

運動期間中の主な取組については、5日に県庁前で行われた開始式に合わせて、県内のテレビ各局のアナウンサー5人に対して一日交通部長を委嘱し、DJポリス風広報を行うなどアナウンサーの特性を活かした広報啓発活動を実施したところ、各局ニュースで取り上げられたほか、アナウンサー自身もSNSで活動の様子を投稿するなど幅広い層に対する広報活動を展開した。

また、各警察署においても、自転車のヘルメット着用促進活動、交通安全教室及び反射材配布活動などの各種施策に取り組んだ。

今後、行楽期を迎え、交通事故や飲酒運転の増加が懸念されるところであり、引き続き警察官の姿を見せる目立つ街頭活動や分析に基づく効果的な飲酒取締りを推進する。」旨の報告があった。

## 【警備部議題】

### ○ 原子力発電所警戒警備に伴う本県警察官の特別派遣について

警察本部から、「重要防護施設である青森県内の原子力関連施設の警戒警備に伴い、青森県公安委員会から当県公安委員会に援助要求がなされたことから、本県警察官を派遣しようとするものである。」旨の説明があり、決裁した。

### ○ 専決事務処理状況（令和6年1月から3月までににおける小型無人機等の飛行に関する通報受理状況）について

警察本部から、「小型無人機、いわゆるドローン等の飛行に関する通報受理件数について、本年1月から3月までの間、合計5件の通報を受理している。」旨の報告があった。

## ○ 非常招集伝達訓練等の実施について

警察本部から、「本訓練は、新年度体制下において、災害対処体制の早期の確立、災害に対する職員の危機意識啓発を目的に、新年度早々に毎年実施しているもので、今回の訓練は、岩手県沖で震度5強の地震が発生したことにより沿岸に津波警報が発表され、土砂崩れが発生し家屋が巻き込まれた想定により各訓練を実施する。訓練日は、4月22日から26日までの間のいずれかの日に実施することとし、事前に実施日を通知しない方式とする。地震発生 of 想定に基づいて、非常招集伝達訓練（全職員）、参集訓練（災害警戒本部コアメンバー）、災害警備本部設置運営訓練（同上）、発災初期の被害情報報告訓練（各署）、救出救助訓練（機動隊）、災害現場映像伝送訓練（機動隊、情報通信部）、衛星携帯電話通信訓練（機動隊、各警察署）を実施するが、今次の訓練では、初の試みとしてドローンによる災害現場映像伝送訓練を実施する。各班コアメンバーが災害発生初期に実際に行うこととなる被害情報収集、資料作成、部隊運用、映像情報収集、広報対応等について、捜査支援分析課と機動隊が実施するドローン実働訓練とリンクしてロールプレイング方式で訓練する。また、現場映像については、総合指揮室から県庁防災課に伝送する訓練も併せて実施する。」旨の報告があった。

## ■個別会議

### ○ 監察課

第42回危険業務従事者叙勲勲章伝達式における公安委員会委員長の対応についての説明、決裁

### ○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

### ○ 生活安全企画課

令和6年第1四半期における映像データの活用状況についての報告

### ○ 総務課

公安委員会あて苦情の処理についての説明、決裁